

研究実践講座「研究実習 11/16」発表者募集要項

「研究実習(調理実習)11/16(日)」 10:00-16:00

【主旨】 基礎初級、中、上級の講座および調理実習の趣旨を理解したうえで、園・学校や家庭などにおける「食物アレルギー対応献立」を提案する。
原則、卵・乳・小麦・そば・落花生・エビ・カニ7品目除去とし、代替食材を必ずあてることとする。(献立は独自性の高いものに限ります。)

【献立の内容】 幼児又は学童の昼食1食分の献立をたて、そのうち、「主菜、副菜いずれか1品」又は、「おやつの場合は2品」を提案する。(日常献立又は行事食)

※「おやつ」を選ばれる場合は、献立中の「おやつ」を1つ提案するのと別に、もう1品提案する。

参照資料)「食物アレルギーの基礎と対応」

- ・献立作成…P104/図表 8-4「献立作成の基本」
- ・食品使用量の目安…P107/図表 8-5「学校給食の標準食品構成表」
- ・栄養価の目安…P113/図表 8-8「幼児または児童の1人1回当たりの学校給食摂取基準」
P166/図表 10-4「計量スプーン・カップによる調味料の重量および塩分・糖分換算表」

【発表】 発表当日は、レシピ・食材・調理方法を説明し、受講生全員で実習します。
誰が読んでも理解できるように作成して下さい。

【応募締切】 9月30日(水) (期限厳守)
幼児又は学童の1人分で下記発表内容を、支援ネット(info@alle-net.com)まで提出。

【材料費】 材料費は、1人分 おやつ 50円 主菜・副菜は100円を目安。
(食材は特殊なものを除いて支援ネットが準備します。)

【募集人数】 5人程度 (応募多数の場合は、応募締め切り後に選考)

【発表内容】

- ◆提出いただきました資料は、実習当日受講生への配布資料とします。
 1. 献立提案にいたった思い
 2. 献立のねらい
 3. 提案する料理名、又はおやつ名とそのネーミングの由来
 4. 食材の特徴
 5. 材料、1人分の価格、栄養成分(エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、カルシウム、鉄、塩分)
 6. 作り方 (幼児又は学童の一人分)
 7. 作り方のポイント、コツ

【発表時間】 発表時間 10分、調理時間 30分、質疑応答 5分

【提案例】

1、献立表 参照資料) 「食物アレルギーの基礎と対応」P164または、実習の資料など

昼食1食分の献立を記載。
 代替えの対象外は料理名、材料名のみ記載。
 代替えの対象料理は料理名、材料名、重量を記載。

提案する代替料理のみ記載。
 料理・おやつ名、材料名、
 重量を記載。

幼児・学童							
昼食 献立	料理名	材料名	重量 (g)	代替料理名	材料名	重量 (g)	

2、「代替料理の作り方」の書き方を記載

参照資料) 「食物アレルギーの基礎と対応」または、実習の資料など

3、「1食分の献立の栄養計算」を記載

参照資料) 「食物アレルギーの基礎と対応」P113図表8-8または、講座・実習の資料など

	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	塩分 (g)
幼児 又は学童							

研究実践講座「研究実践報告 11/29」発表者募集要項

「研究実践報告」 10:00-15:00

【主旨】 食物アレルギーに関わる研究および園や学校または**地域**における実践報告

【方法】 **Powerpoint を使用しての報告**

【応募締切】 9月30日（水）（期限厳守）

下記の発表内容を支援ネット（info@alle-net.com）まで提出

実践報告当日の発表資料は、10月30日（金）までに提出（期限厳守）

申込締切後の内容の変更は受付ません。

【募集人数】 5人程度

応募者多数の場合は、応募締め切り後に選考

【発表内容】

1. テーマ
2. 研究・実践にいたった思い
3. 研究・実践の主旨

【発表時間】

発表時間 10分 質疑応答 5分

参考 食物アレルギーマイスターについて

【食物アレルギーマイスター】 ～あなたも認定を受けて活躍しませんか～

アレルギーで悩む子どもやご家族の大きな支えとなる「食物アレルギーマイスター」。

アレルギー大学で専門知識と技術を習得したうえで成果発表を行い、認定委員会の審査に合格した方が資格取得できます。

【食物アレルギーマイスター取得には】

研究実践講座での発表は、「食物アレルギーマイスター」申請条件に必要な単位として評価を行い、実績としてカウントされます。

- 必須条件
1. 上級講座まで修了
 2. 研究発表実践報告と研究実習をそれぞれ2回以上受講
 3. 研究発表（実践報告または実習）を2回以上
 4. 上級講座「医学Ⅴ」・「保育学校管理Ⅱ」をそれぞれ2回以上受講

マイスター申請に必要な単位を取得すると、マイスター申請が可能になります。

マイスター認定委員会にて審査をし、合格者はアレルギー支援ネットワークの正会員(年会費：5,000 円)として入会后、「食物アレルギーマイスター」として登録し、認定証（認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク発行）を授与いたします。**マイスター認定後は 5 年ごとに、活動及び本大学の再受講単位などの状況を総合評価し更新となります。（登録料・更新料は別途必要となります。）**

【アレルギー支援ネットワークが食物アレルギーマイスターに期待すること・求めること】

常にアレルギーに関する最新の情報収集や知識の習得に務め、地域や職場において、医療機関や自治体と連携をし、アレルギー疾患を持つ患者家族の QOL の向上のために活動することを期待しています。

名刺に記載するなど、マイスターであることをアピールしていただくことをお勧めします。

<具体的な連携先の例>

医療機関（アレルギー専門医）

保健所・保健センター

保育園・保育課

学校・教育委員会

防災課・社会福祉協議会・防災ボランティア団体

子育て支援団体 など

<具体的な活動の例>

地域の「アレルギーの会（患者会）」の活動支援（定例会への参加）・設立支援

アレルギーに関する勉強会や講演会の開催（アレルギー大学の DVD を活用）

ミニアレルギー大学の講師

患者会や患者家族と自治体の関連部署との橋渡し役（コーディネーター）

アレルギーに関する正しい知識の普及 など

<企業における活動の例>

職員に対するアレルギーに関する正しい知識の普及

アレルギーに関する商品開発やアレルギー疾患を持つ患者家族の QOL の向上のための業務 など